

弘前学院大学 地域総合文化研究所  
講演会

# 激動の近代と津軽

2014年

3月8日(土)

13:00～16:00(開場・受付開始 12:30)

- ◆会場 弘前学院大学 礼拝堂
- ◆入場無料、事前申し込み不要



## ◆講演

① たけ ふさ 笹森建英 (社会福祉学部 特任教授)

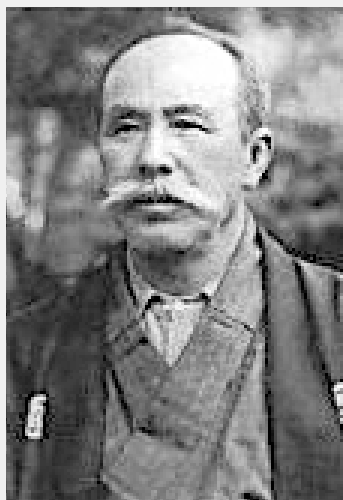
「近代津軽の民間信仰ーイタコを中心としてー」

イタコの《口寄せ》を聞いたことがありますか？恐山で有名な青森県に住んでいても、イタコに会う機会がほとんどなくなったのが現状です。かつて、近代化の施策の中で、盆踊り、ネブタ、虫送りなどに禁止の布令が出され、イタコもその対象になりました。それでも生き残ってきたイタコの伝承が、今また消滅しようとしています。《口寄せ》などの録音テープを聴きながら何故なのかを探ります。

② いさ あき 野口 俊名 (社会福祉学部 教授)

「本多庸一の教育観」

江戸時代の藩校の流れを汲む学校が、キリスト教教育を行ってきた。これは、全国的に見ても珍しい津軽の特色です。講演では、そのような「なぞ」に迫ります。その中心であった本多庸一。彼は、キリスト教に基づく教育観によって、理想の社会を目指していました。



## ◆お問い合わせ

弘前学院大学 地域総合文化研究所

〒036-8577 弘前市稔町1-3-1

TEL 0172-34-5212 (代表)